

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名	唐津市立第一中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の中で、生徒・保護者のニーズをもっと掘り起こす必要があるとの意見をいただいた。反面、学校のリソースは限られており、業務改善が求められている現状でもある。家庭・学校・地域と連携して新たな教育活動を実践するための基盤づくりが求められる。 ・本年度はコロナで中断していた対話能力向上のための書魂トークを毎週実施しようとしたが、コロナ以前に取り組んでいた職員も減り、やり方が継承されておらず、以前のように取り組めない現状がある。対話を取り入れた授業実践には、対話スキルや教室の人間関係づくりが必要であるため、再度力を入れていきたい。 ・学校評価アンケート「第一中学校に入学してよかったですか」で肯定的回答が生徒95%、保護者94%という高評価をいただいた。家庭のご理解・ご協力や教職員の日頃の対応や指導の成果、そして地域の方の見守りが生かされていると考えられる。これからも丁寧に取組を進めていきたい。
2 学校教育目標	一中 大好き
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が主体的に学ぶ魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。 ② 学校生活の中で生徒に活躍の場をもたせ承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。 ③ 「立腰教育」を柱とした授業規律を確立し、規範意識と自己指導力を高める。 ④ 職員が、校務分掌等を通して、積極的に学校運営に参画できるようにする。

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関する取組を、通信などを通じて随時保護者に知らせていく。 ・唐津の学びスタイルの途中経過と修正を、校内研修を通して適宜行っていく。 ・単元計画表を各教科で活用する。 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生徒対象に道徳評価アンケートを2学期に行い、肯定的回答が85%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の精選を行い、各学年の様子や行事等に応じた内容を組み立てる。 ・学年間で実施内容を揃え、指導案をシェアする。 ・学期ごとにアンケートを取り、振り返りと定着を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートでいじめ防止・早期対応の取組に関する肯定的回答が生徒85%以上・保護者90%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期に職員研修会、毎月生活アンケートを実施し、早期発見対応の充実を図る。
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	<ul style="list-style-type: none"> ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒75%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒75%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や生徒会活動、ボランティア活動に参加し、頑張っていた生徒を紹介する場を全校、学年、学級の中に設け、自己肯定感の向上に努める。 ・進路講演会や職場体験等を自分の将来について具体的に考え、交流する場とする。
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 	<ul style="list-style-type: none"> ○「メディアの使用について家族で話し合いルールを設けている」と肯定的な回答をした保護者90%以上。 ●「健康に良い食事をしている」について肯定的な回答をした生徒70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員会の年間の取り組みとして活動していくことで望ましい生活習慣の意識づけを行う。 ・保健だよりで家庭にも知らせていく。 ・PTA母親部、生活指導部とも連携して活動する。
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●学校安全に関する学習後や避難訓練後の感想から、理解の促進や学習の大切さを述べている生徒の割合が90%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・水害、火災、台風、大雪などの自然災害のほか、原子力災害など様々な緊急時を想定した危機回避能力を身に付ける安全教育を推進する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の内容の見直し、校時程の見直し、校務分掌の業務分担の標準化を進める。 ・「あたりまえ」と考えている業務の見直しを進める。
	○より適正な部活動のあり方	○部活動ガイドラインを遵守した計画、運営の完全実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県・唐津市の「運動部活動の在り方に関する方針」を遵守した活動時間、休養日の設定を行う。
●特別支援教育の充実	○特別支援学級在籍生徒が安心して学習できるという意識の向上	○特別支援学級在籍生徒で、安心して学習できると回答する生徒60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒に関する情報共有の充実化、支援計画の確認、保護者との細かい連携、授業カリキュラムの丁寧な見直し。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○学力の向上	○学校・家庭・地域において、主体的に学習活動を行い確かな学力を育成する。	○学校評価アンケートにおける「あなたは授業が分かりますか」の問いに対する生徒の肯定的回答が85%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き～保護者用リーフレット～」等を活用し、家庭と連携して家庭学習習慣の定着を図る。 ・唐津の学びスタイルに沿った研修および授業づくりを行う。
○生徒指導	○規範意識の向上と自己管理能力(自主性)の育成	○学校評価アンケートで「学校や社会のルールを守っている」と回答した生徒90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・生活心得「初心」を全校生徒、職員に配布し共通理解の下、日々の生活の中で確認しながら指導を全職員で行う。
○教職員の学校経営への参画	○校務分掌等を通して、積極的に学校運営に参画する教職員の育成	○「学校経営に積極的に参画している」と回答した教職員80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・従来通りの取り組みを繰り返すだけでなく、担当する分掌において創意工夫しながら取り組むようにする。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育